

栗の木

叱ることの大切さ

校長 多田 洋一

最近、電車内で足を踏んだ踏まないで、殺人事件になったり、席を詰めてくださいといったら、これも同様な事件に発展して、若者の心の「キレル」現象が相次いで起こっている。

ある関係者は「最近の若者を含めて、子ども達は、小さいときから、大人の人たちからしかられ慣れておられないから、叱られることに異常なまでの反発をする」と指摘する人もいます。確かに私もそう思うことがあります。よくお年寄りの方から、「私の時代は学校の先生は恐かったぞ。今の先生は優しすぎる」とおしかりとも、励ましとも考えられるような言葉をいただけくことがあります。

考えてみると、当時は、家庭も厳しくあつたから、学校も同様に対処できたのではないのでしょうか。時代が大きく変化をし、家庭での子どもに対するしつけ方も大きく変化してきています。

でもよくよく考えてみると、叱ることは、大切なことだと思えます。事の善悪や間違った行動が叱られることによつて、正しく心が育つと思うからです。しかし、叱るタイミングを外したり、毎日小言みたいな状況では、効果も薄れ逆効果になることも、なきにしもあらずです。

江戸時代の名僧と呼ばれた良寛さんも、自分を戒める言葉を書いた

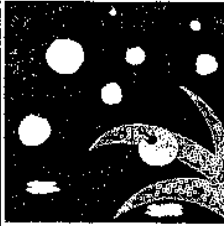
高松市立 栗林小学校
13年6月1日
33号



ています。それが「良寛戒語」として伝えられてきています。そこで叱り方を、見直す視点にもなると思えますので、良寛さんの戒語を紹介してみます。子育ての参考にしてください。

「言葉の多さ／口の早さ／あわただしくもの言う／さしで口／おきらぬうちもの言う／わがことを強いて言いきかさんとする／おのが意地を言い通す／過ちを飾る／かえらぬ事をくどくど説く／憎き心を持ちて人をしかる／すべての言葉を惜しみ惜しみ使うべし」といっています。

子供を育てるには、我慢が大切です。ついつい叱るより「怒り」が爆発してしまいがちです。最近の子どもは、よく「キレル」といわれていますが、大人たちは、どうでしょうか。子ども達の「キレル」現象は、子ども達だけに問題があるとはいえないと思えます。大事なことは、小さいときから、善悪のけじめや道徳的な規範意識を日々の生活の中や学校で、ほめていながら、小さい実践を積み重ねていくことが大切だと思えます。大人達も自省してみたいものです。



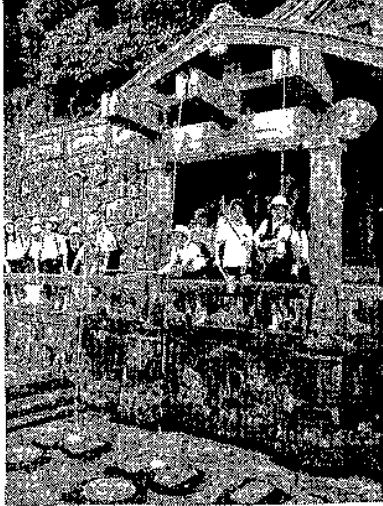
歴史を訪ねた

修学旅行

去る五月十五日（火）早朝、運動場に元氣な六年生が集合しました。大きなバツグやリュックを背に楽しい修学旅行の結団式です。一日目は、大阪城と東大寺、二・三月堂、新京極。二日目は、四つのグループに分かれての見学です。Aグループは「室町時代の代表的な建物を調べよう」、Bグループは「日本最高の長さの木造建築を見てみたい」、Cグループは「一庭のすばらしさや建物の工夫を知りたい」、Dグループは「有名な国宝の仏像に会いたい」です。それぞれの目的をもって活動した二日間もあつという間に過ぎたようです。百九十四名の児童と十名の引率教師が、楽しい思い出とともに無事学校に着いたのは、十六日の十八時過ぎでした。

6月の行事予定

- 1日(金) プール開き
- 3日(日) 春華運動会
- 4日(月) 振替休業日
- 5日(火) 歯科検診1年・くりの子
6年校外学習
PTA水道施設見学会
- 6日(水) 歯科検診3年
諸費引き落とし日
PTA役員会
- 8日(金) 歯科検診2年
登校班班長会
- 9日(土) 休業日
- 12日(火) 障害児宿泊学習(～13日)
市・県教委学校訪問
- 13日(水) 教育相談日
ッ反接種1年・2年の一部
- 15日(金) ッ反判定、BCG接種
家庭教育学級
- 16日(土) 歌とフルート四重奏
開かれた学校づくり推進委員会
- 18日(月) 学習参観・学級PTA(下学年)
家庭教育学級
- 20日(水) 歯科検診4年
学習参観・学級PTA(上学年)
- 21日(木) PTAスポーツ大会
- 22日(金) 家庭教育学級
- 23日(土) PTAスポーツ大会
- 24日(日) 家庭の日
- 27日(水) 教育相談日
歯磨き指導(1・3・5年、くりの子)



清水寺にて



東大寺にて

